

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：茅野 牧夫

事業名 一般国道322号 <small>はっちょうとうげ</small> 八丁峠道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局			
起終点 自：福岡県嘉麻市大力 <small>かましだいりき</small> 至：福岡県朝倉市秋月野鳥 <small>あさくらしあきづきのとり</small>		延長 4.5km			
事業概要 八丁峠道路は、国道322号における未改良区間や異常気象時通行規制区間の解消を行い、走行性の向上、道路の信頼性の確保等を目的とした事業である。					
H18年度事業化	H一年度都市計画決定 (H一年度変更)	H20年度用地着手	H20年度工事着手		
全体事業費	約167億円	事業進捗率	約12%	供用済延長	0.0km
計画交通量	5,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体)	総費用 113/153億円	総便益 186/186億円	基準年 平成25年	
	(残事業)	事業費：108/148億円 維持管理費：4.9/4.9億円	走行時間短縮便益：144/144億円 走行経費減少便益：36/36億円 交通事故減少便益：5.6/5.6億円		
感度分析の結果 【事業全体】交通量：B/C=1.1~1.3（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.1~1.3（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.2~1.2（事業期間±20%） 【残事業】交通量：B/C=1.5~1.7（交通量 ±10%） 事業費：B/C=1.5~1.8（事業費 ±10%） 事業期間：B/C=1.6~1.7（事業期間±20%）					
事業の効果等 ①地域産業の支援・物流の効率化 ・工場間の所要時間短縮に伴う自動車関連企業の輸送コストの低減及び生産性向上 ②道路の信頼性の向上 ・異常気象時通行規制区間及び冬季の凍結による通行規制区間（1年間の内約6ヶ月間で通行規制が発生）の回避 ③交通安全性の向上 ・未改良区間の通行が回避され、走行性及び交通安全性の向上 ④救急医療活動の支援 ・第三次救急医療施設（飯塚病院）への救急搬送の支援及び救急搬送時間短縮による救命率の向上					
関係する地方公共団体等の意見 嘉麻市・朝倉市をはじめとする3市2町1村で構成される一般国道322号改修（トンネル）促進期成会（会長：嘉麻市長）により早期完成の要望を受けている。（平成25年7月）					
県の意見： 一般国道322号は、福岡県北九州市を起点とし、田川市、嘉麻市、朝倉市などを経て、久留米市に至る総延長118.8kmの幹線道路であり、地域の産業・経済活動の活性化など、地域社会を多面的に支援することを期待されている路線である。 現在、本路線においては香春大任バイパス、嘉麻バイパス、千手バイパス、甘木大刀洗バイパスなど、福岡県としても重点的に整備を進めているところである。 八丁峠道路は3kmを超える長大トンネルを含み、高度な技術力と継続的に多額な工費を要すことから、今後も国において、早期完成に向けた事業を継続することが必要と考える。					
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					

事業沿線の嘉麻市、朝倉市の人口は前回評価以降減少傾向であるものの、一世帯あたり自動車保有台数は県平均や九州平均を上回っており、自動車依存は高い。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成24年度末の事業進捗率は約12%であり、そのうち用地進捗率は100%となっている。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、今後も引き続き残工事等の事業進捗を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

施設の構造や施工等に変更はないが、新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上、事業の効果及び進捗状況、事業評価監視委員会における審議、地方公共団体等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。